日本医史学雑誌 第54巻 総目次

原	菨
灬	18

Transforming Public Health?:	
A Critical Review of Progress Made Against Enteric Diseases	
during the American-led Occupation of Japan (1945–52)	3
近代イギリス陸軍の衛生改革	
実践的ヘルス・ケア知識の導入 秋山ゆり子	19
『和剤局方』の増補年代の問題 鈴木 達彦	31
18世紀の下関医界と香月牛山門の三医について	39
八甲田雪中行軍遭難事件の医学的研究	
――「歩兵第五聯隊雪中遭難ニ関スル衛生調査報告」に見られる凍死者と生存者――	
	215
『千金方』――遣唐使将来本の書写について 松岡 尚則,山下 幸一,	
	231
生体実験を拒否した生理学者 横山正松 末永 恵子	239
小石元俊の水軍術伝授とその周辺	325
中川五郎次の弟子と彼らによる北日本における種痘の実施 松木 明知	339
魯迅が仙台で受けた解剖学史の講義について 坂井 建雄	359
明治初期における医療の一分野としての看護	
医師太田雄寧訳纂『看護心得』の原著解明と比較検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	373
研究ノート	
中世の医学者アルナウ・ダ・ビラノバ 泉 彪之助	249
ひろば	
獎進医会――『医談』から『刀圭新報』へ 岡田 靖雄	49
続・医史学における複言語主義のすすめ 泉 彪之助	259
医書における「鬼(神)」について――諸子との比較を含めて―― 小髙 修司	265
台湾の医学に影響を与えた日本人――耳鼻咽喉科の場合―― 王 敏 東	275
資 料	
池田文書の研究(三十三) 池田文書研究会	57
明治女医の基礎資料 三崎 裕子	281
池田文書の研究(34) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 池田文書研究会	293
中島宗仙の「筑紫行雑記」について	
文政二年一医師の長崎遊学日記	387
仙台の医学校において 1900 年と 1901 年に講義された解剖学史 坂井 建雄	393
池田文書の研究 (35) 池田文書研究会	399

記 事

消 息		
西洋医学教育発祥百五十年・長崎大学医学部位創立百五十周年合同記念事業執	8告	
相川	忠臣	6
オレゴン大学におけるワークショップ"曲直瀬道三――古医書の漢文を読む"	の開催	
町 ;	泉寿郎	409
例会記録······	74, 303,	41
例会抄録		
江戸時代における鍼灸医学――その思想の沿革――・・・・・・・Vigouroux M	Mathias	74
明治28年に翻訳出版されたビルロートの看護書について 平尾	真智子	76
猫免疫不全ウイルス感染症・・・・・・ 石田	卓夫	77
歯科治療と麻酔の歴史――絵画を中心に―― 別部	智司	79
魯迅が「藤野先生」に書かなかったこと 坂井	建雄	80
大隈重信と日本の精神衛生運動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・岡田	靖雄	82
貝原益軒 未公開『用薬日記』の養生処方 山崎	光夫	303
薬事衛生の歴史的変遷と薬学教育6年制改革の開始 宮本	法子	305
テレビドラマ「ER」に見るアメリカ社会と医療の現代史渡部	幹夫	307
新刊の医家肖像集(杏雨書屋) 天野 陽介, 町 泉寿郎, 小曽	戸洋	308
方伎雑誌の訳注研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	捷年	309
医師の装束 天野 陽介, 町 泉寿郎, 小曽	戸洋	411
書籍紹介		
池本卯典・小方宗次編『獣医学概論』 松尾	信一	85
亀田一邦著『幕末防長儒医の研究』 中西	淳朗	86
陳明著『殊方異薬――出土文書與西域医学』 永塚	憲治	87
新村 拓著『健康の社会史――養生、衛生から健康増進へ――』 日野	秀逸	311
香西豊子著『流通する「人体」――献体・献血・臓器提供の歴史――』		
新村	拓	312
トルステン・デッカート著,大森安恵・成田あゆみ訳		
『ハーゲドン 情熱の生涯――理想のインスリンを求めて――』 藤倉	一郎	313
酒井耕造著『近世会津の村と社会――地域の暮らしと医療――』 竹原	万雄	314
梅渓 昇著『続 洪庵・適塾の研究』	皓二	315
ジェイムス・ライリー著 門司和彦・金田英子・松山章子・駒澤大佐 訳		
『健康転換と寿命延長の世界誌』	幹夫	412
岡田研吉・牧角和宏・小髙修司著『宋以前傷寒論考』 松岡	尚則	414
川越修・友部謙一編著『生命というリスク』 杉山	章子	414
医史学関係文献目録(平成 18 年,2006 年)順天堂大学医史学研究	究室編	167
投稿規定·······	318,	417
編集後記	10, 320,	419

第109回 日本医史学会総会 演題目次

会長記	黄 漢			
江戸	5時代,鉱物に関する諸問題			
-	――田村藍水,平賀源内,シーボルト,ビュルガー,ポンペの事績を中心	ひにー		
		大沢	眞澄	97
市民公	公開講演			
佐倉	含と順天堂の人びと	酒井	シヅ	102
一般》	寅題			
1	笠間藩医結解庸徳による全身麻酔下の上顎腫瘍摘出術			
		佐藤	裕	104
2	橋本宗吉(曇斎)の西洋医事集成宝鑑とエレキテルについて	渡部	幹夫	105
3	家伝本「紅夷外科宗傳」(1706) ほか二部についての考察	田中	祐尾	106
4	騸	松尾	信一	107
5	兵士が学んでいた包帯法に関する知識と技術			
	──明治7年発行『三角繃帯用法』より──	鈴木	紀子	108
6	明治初頭日本における医療技術の受容過程			
	順天堂大学所蔵の外科器具を中心に	月澤美	美代子	109
7	松本順の医学関連資料	寺畑	喜朔	110
8	佐藤泰然一族とヘボン	高安	伸子	111
9	1 私宅監置例の精神鑑定	岡田	靖雄	112
10	京都の岩倉において精神障害者家族的看護を可能にした			
	社会的条件	中村	治	113
11	わが国における精神科ソーシャルワーカーの黎明(その1)	橋本	明	114
12	勝沼精藏先生――日本神経学の開拓者	高橋	昭	115
13	明治初期出版の小学生用に使用された人体構造に関する教科書につ	いて		
		島田	和幸	116
14	長与専斎と二見海水浴場	西井	易穂	117
15	内務省衛生局長・窪田静太郎にとっての「癩予防ニ関スル件」	平井族	進一郎	118
16	高木兼寛の健康教育観に関する研究(第3報)			
	――臨時教育会議での師範教育・実業教育改善に関する発言内容か		-	
	平尾真智子,芳賀佐和子,	蝦名	總子	119
17	「陸軍軍医学校防疫研究報告」Ⅱ部			
	- (その二) - 研究に加担した医学者(嘱託) たち ···································	莇	昭三	120
18	産婆規則公布以降の産婆の管理			
	神奈川県を事例にして	小川	景子	121
19	明治期における速成看護婦養成の状況			
		水田具	美由美	122

20	明治 34 年(1901)の医師・薬剤師調査と工藤鉄男編『日本東京医事通覧』	
		123
21	厚生省看護課設置にみる第二次世界大戦後の看護改革の評価 大石 杉乃	124
22	戦後沖縄の保健・医療行政 その2	
	初期軍政下の保健・医療システム ···・・・・・・・・ 杉山 章子	125
23	語られない歴史 ——沖縄の保健婦駐在制に埋もれた助産婦の実践——	
	東 亜紀, 丸井 英二	126
24	彦根市のマラリア対策小林郁と小林弘の役割	
		127
25	古記録の鍼灸 ――鎌倉時代・近衞家二代の日記より―― 寺川 華奈	£ 128
26	幕末の頃、利根川流域に広凡に販売されていた秘伝のめぐすり	
	「家傳開明散」,「家傳青眼膏」 青木 道夫	129
27	忘れ得ぬ植物・漢方薬の学者――佐藤潤平 郭 秀 権	
28	岩国市芦山家に伝わる婦人臓図について 片岡 勝子	
29	雷火鍼法について	
30	『名家灸選』所収の隔物灸	
31	江戸期の経穴学工具書について	
		134
32	『洪氏集験方』の鍼灸について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
33	中国明代までの症状と脈状 中川 俊之	
34	『决脈精要』の考察 木場由衣登	
35	国立公文書館内閣文庫所蔵の脈書『紫虚崔真人脈訣秘旨』について	,
	古岡 広記	138
36	アンドレアス・ヴェサリウスとフィレンツエ公コジモ・ディ・メディチ	
		139
37	_	10,
υ,	·····································	140
38	16世紀前半の解剖用語について ――脱アラビアの試み――	. 1.0
	·····································	į 141
39	John Hunter「補遺」について・・・・・・・ 水谷惟紗久	
40	"ヒポクラテスの木" 2007	. 1.2
10		143
41	アトキンソン・モーリー病院の創設と発展 柳澤 波香	
42	本邦初の頭部単純レントゲン撮影を行った済生学舎教師の丸茂文良医学士	, 177
12		145
43	田原の原著からみる知られざる業績······ 島田 達生	
	魯迅が受けた藤野厳九郎による解剖学史の講義について 坂井 建雄	
	The state of the s	/

45	済生学舎出身の旧制金沢医科大学学長須藤憲三に関する新事実	
		安 148
46	戦前の東京の精神科病院と精神科看護 金川 英雄、堀 みゆ	き 149
47	フーフェランドの「医戒」から引用した校是「克己殉公」を実践した	
	小此木信六郎 岩﨑 一, 殿﨑 正明, 志村 俊郎, 唐澤 信	安 150
48	道教と中国伝統医学(第28回黄庭経)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	治 151
49	『大同類聚方 (寮本・延喜本)』に見える古代の医術 後藤 志	朗 152
50	『十訓抄』の中の身体に関わる表現 計良 吉	則 153
51	荻生徂徠の死因 杉浦 守	邦 154
52	南宋五巻本『和剤局方』の再検討 鈴木 達	彦 155
53	龍谷大学蔵大谷文書 5467 号の『本草集注』 猪飼 祥	夫 156
54	『宋板傷寒論』系諸版の検討 真柳	誠 157
55	『戴曼公唇舌図訣』の思想について 西巻 明	彦 158
56	江島杉山神社の御神像について 大浦 宏勝, 市川 友芸	理 159
57	医家肖像に関する考察 小曽戸 洋, 天野 陽介, 町 泉寿郎, 花輪 壽	彦 160
58	本居宣長記念館所蔵『挨穴会志』について 山﨑 陽	子 161
59	『医説』巻第二・鍼灸の典拠について 田中利江子,橋本 典	子 162
60	江戸前期の医学辞典における収録病證の変遷	
		雄 163
The 1	09th General Meeting of the Japan Society of Medical History	164